

地域密着型金融の取り組みについて（平成 19 年度）

項目	動機（経緯）	取組み内容	評価・今後の課題
ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化			
経営改善支援	中小企業の経営改善支援は、企業力を目利きできる人材の育成が不可欠であり、積極的に養成しました。	従来の派遣研修に加え、中小企業大学校、信金中金等の研修機関の企業経営改善支援・企業再生等に関する 講座に、支店長、営業代理、営業担当者の段階別に毎年約 10 名の派遣研修を開始しました。 なお、平成 19 年度の「経営改善支援の取組み実績」は別添を参照願います。	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の特長について目利き力が備わり、各業界の知識が深まりました。 ・財務、属性情報の分析能力が高まり、経営改善計画の作成が可能となりました。 ・研修修了者への継続的な育成と効果的な人員配置が課題です。
事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底			
担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み	新たな融資手法として売掛債権、棚卸債権等の流動資産担保融資に着目しており、信用保証協会の流動資産担保融資保証制度が整い、中小企業先の資金調達の多様化に寄与するため取扱いを開始しました。	平成 19 年度の取組み実績は以下のとおりです。 取組み件数 1 件 取組み金額 20 百万円	<ul style="list-style-type: none"> ・流動資産担保融資は当金庫初の試みで、融資先の資金繰りの改善につながるものと考えております。 ・初めての取組みであり、ノウハウを蓄積している状況であり、今後も中小企業取引先への新たな支援方法として取組んでまいります。
	企業の定性情報および財務状況（キャッシュフロー含む）を重視した融資を推進しました。	担保・保証に過度に依存しない融資等の平成 19 年度の取組み実績は以下のとおりです。 取組み件数 93 先 取組み金額 1,408 百万円	<ul style="list-style-type: none"> ・融資先企業より、当金庫の経営スタンスや利便性が評価され、当初の目的は達成されたものと考えております。
地域の情報収集を活用した持続可能な地域経済への貢献			
地域活性化につながる多様なサービスの提供	次世代経営者に交流と勉強の場を提供することを目的に「若手経営塾」を設立し、活動しました。	平成 19 年度は以下のとおり開催し、塾生の交流と新チャネルの発見・創造の場を提供することが出来ました。 <ul style="list-style-type: none"> ・企業視察実施 ・石巻専修大学施設・研究見学会実施 ・塾生によるディスカッション実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・若手経営塾を設立しての初年度としては、予定どおり実施でき、内容についても評価できるものと認識しております。 ・20 年度は塾生を増員し、活動してまいります。

項目	動機（経緯）	取組み内容	評価・今後の課題
		<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマッチング東北 2007 見学会実施 ・企業を成功に導く営業革新実践セミナー実施 	
地域活性化につながる多様なサービスの提供	<p>当金庫・石巻専修大学・地元企業の産学の技術・ビジネスマッチング・情報交換の協力体制を推進し、連携して地域産業の活性化を目指しました。</p>	<p>平成 19 年度は以下のとおり実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石巻専修大学研究助成金の交付と IS 研究助成発表会の実施 ・石巻専修大学施設・研究見学会実施 ・インターンシップ(石巻専修大学生 2 名)実施 ・企業経営セミナー実施(石巻の観光ビジネスについて) ・「石巻の観光ビジネス」に関する情報交換会実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業経営セミナー(石巻の観光ビジネスについて)は 3 日間の開催で 412 名の参加があり、関心度の高さを感じました。 ・インターンシップは当金庫初めての試みであり、今後取引先企業へのインターンシップの拡大に結びつくものと考えております。
	<p>地域における中小企業への支援、新規事業創出、ベンチャーの育成、中小企業の再生等相互に協力し地域経済の活性化と中小企業支援の促進を図るため、「中小企業基盤整備機構東北支部」と業務連携を実施しました。</p>	<p>平成 19 年度は以下のとおり実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支店長研修の実施 ・生産性向上のための研修会と経営相談会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業基盤整備機構東北支部との業務連携により、石巻市との共催事業も実施され、今後の連携事業の拡大につながるものと考えております。

経営改善支援の取組み実績

【19年4月～20年3月】

(単位:先数)

	期初債務者数 A	うち 経営改善支援取組 み先	うち			経営改善支援取 組み率 = /A	ランクアップ率 = /	再生計画策定率 = /	
			のうち期末に債 務者区分がランク アップした先数	のうち期末に債 務者区分が変化し なかった先	のうち再生計画を 策定した先数				
正常先	1,697	0		0	0	0.0%		-	
要 注 意 先	うちその他要注意先	167	64	14	46	0	38.3%	21.9%	0.0%
	うち要管理先	10	3	0	1	0	30.0%	0.0%	0.0%
破綻懸念先	62	1	1	0	0	1.6%	100.0%	0.0%	
実質破綻先	28	0	0	0	0	0.0%	-	-	
破綻先	13	0	0	0	0	0.0%	-	-	
小計(～の計)	280	68	15	47	0	24.3%	22.1%	0.0%	
合計	1,977	68	15	47	0	3.4%	22.1%	0.0%	

- 注) ・期初債務者数及び債務者区分は19年4月当初時点で整理
 ・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含まない。
 ・ には、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載。
 なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者は には含めるもの の には含めない。
 ・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合は には含める。
 ・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が
 期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理すること。
 ・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めない。
 ・ には、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載。
 ・みなし正常先については正常先の債務者数に計上のこと。
 ・「再生計画を策定した先数」=「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」+「RCCの支援決定先」+「金融機関独自の再生計画策定先」